

## 学習の流れ提示

考えを「もつ」

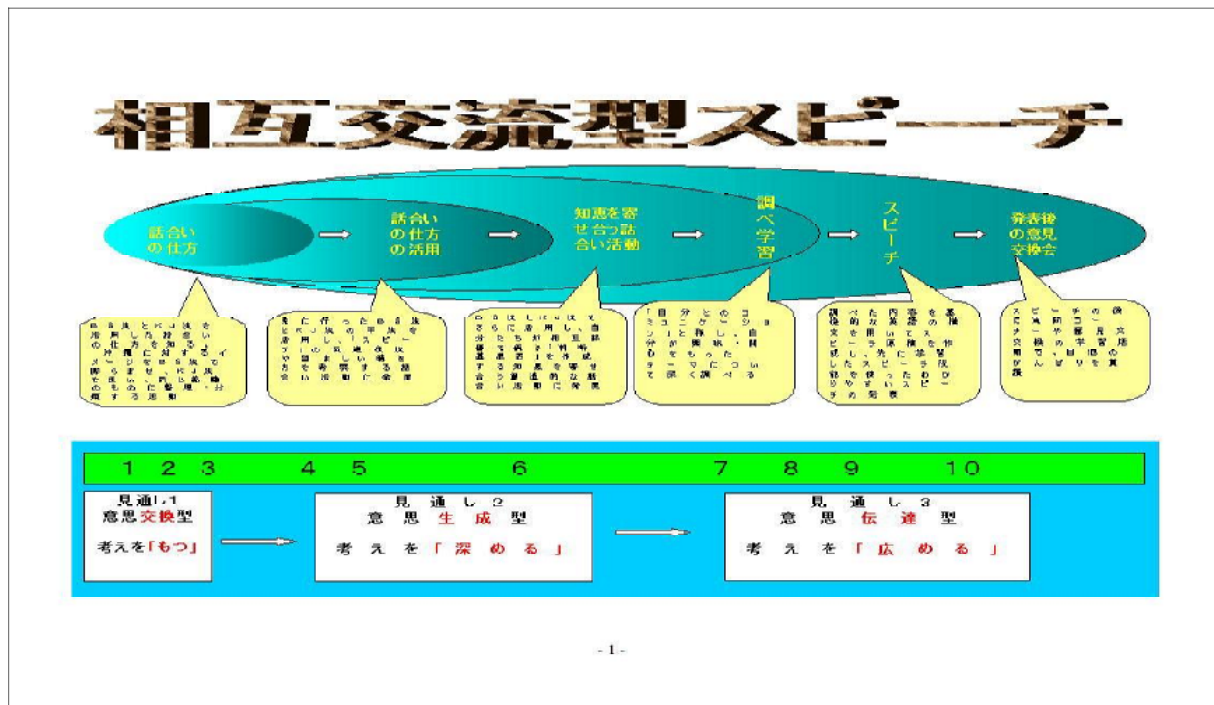


考えを「深める」



考えを「広める」

1時間目から10時間目までの学習の流れ



## 学習過程の説明

### 1 見通し1 考えをもつ段階(1・2・3時間目)

ねらい

話し合いの仕方を習得する。

スピーチする話材を探す。スピーチへの不安の解消・軽減

#### (1) ブレンストーミング法の習得に向けて

##### ブレンストーミング法の4原則

批判厳禁 - 出されたアイデア・意見に批判をしない

自由奔放 - 冗談混じり、思いつきの発言大歓迎

\*ただし、今回は全員に意見を出させるため、順番に発言をさせた。

質より量 - 量的拡大が質的向上に結びつく。とにかくアイデアを多く出す。

結合改善 - アイデア・意見が出されていく過程で、他人のアイデアに触発されたり、便乗し、さらに発展したアイデアを生み出す。

##### ブレンストーミング法の進め方

テーマを具体的に設定する。 「今回は、沖縄について興味関心あることをスピーチする話材を探す」

思い浮かんだことを付箋紙に書く。

付箋紙に書いたものを、大きな紙(A3用紙)に貼り付けていく。

一人、グループ、クラス全体でのアイデアの数を比較。

## ブレンストーミング法の実践

活用したワークシートと貼り付けた付箋紙

「イメージをふくらませよう」  
ブレンストーミング法を学習しよう。  
【連想ゲーム】 “沖縄” について思い浮かぶモノ・思い描くモノは？

	A	B	C	D
1	サトウキビ	シーサー	海	ゴーヤ
2	パイナップル	スピード	サンゴ	方言
3	ゴーヤチャンプル	豚	自然豊か	ハイビスカス
4	家	黒砂糖	ダバンプ	ガレッジセール
5	モンゴル800	HY	アムロナミエ	ナカマユキエ
6	オレンジレンジ	島	クニナカリョウコ	米軍基地
7	ハブ	海ぶどう	首里城	エイサー
8	島唄	グシケン	チンスコウ	ミミガー
9	戦争	ドゥー	常夏	平屋
10	ナツカワリミ	ザ・ブーム	伊勢ハヤシ	踊り
11	ピキニ	豚足	ハジメチトセ	台風
12				
13		以下省略		
14				
15				

### 活動結果

個人がもっていた「沖縄」のイメージは平均で4.3個、クラス全体では78個にイメージが膨む

### (2) KJ法の習得に向けて

#### KJ法の概要

ブレンストーミング法と併用すると効果的。

ブレンストーミング法で出された雑多なアイデアや意見を1枚ずつ小さなカード（今回は付箋紙を使用）に書き込み、それらのカードの中から同じ範疇のものを集めていき、整理・分類する発想法の一つ。

#### KJ法の進め方

カード（付箋紙に書き込む）を作る・・・今回はBS法を活用した。

グループを編成する。

カードを同じ範疇で集める。（音声による意見交換が大切）

小見出し（表札）を作る。

#### KJ法の実践

《KJ法を活用して話合ったワークシート》

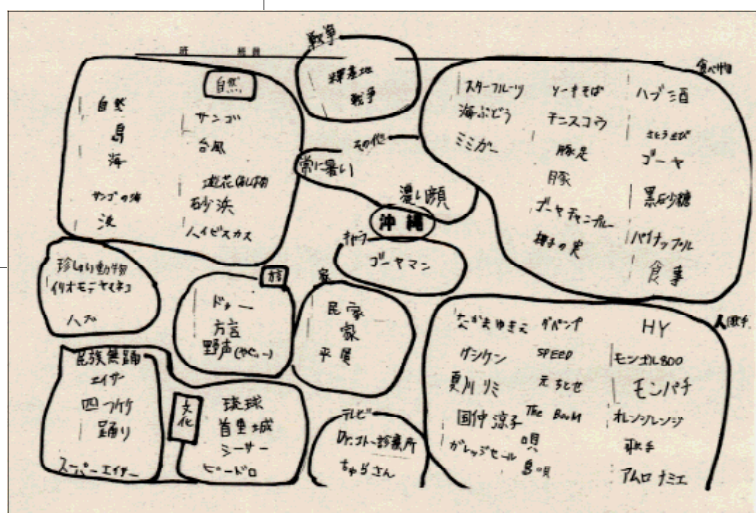
BS法で膨らませたイメージを以下のワークシート（大きさはA3用紙）に班で整理・分類する話し合い活動を行う。

組 班員

沖縄

\* 付箋紙を活用して同じ種類や分野に整理・分類

## KJ法の実例



## 2 見通し2 考えを深める段階(4・5・6時間目)

ねらい

ブレインストーミング法・KJ法を活用した話合いで、相互交流型スピーチとは何かを探る。

ブレインストーミング法・KJ法を活用した話合いで、自分たちのスピーチを具体的・客観的に判断する評価の指標を作る。

### (1) 相互交流型スピーチを知るための話合い活動

いろいろなスピーチの技能を知る - 教師が様々なスピーチを提示

スピーチの形	スピーチの概要	スピーチで使われた技能
ア Speech on speech 例示	A L Tが「スピーチとは何か」というテーマでスピーチする。A L Tは原稿を用いて、英語で模範的なスピーチを行う。	声調の変化・ジェスチャー、繰り返しなどの非言語コミュニケーション技能を使う。
イ Speech on speech の棒読み	J T Eが上記のスピーチ原稿内容をただ英語で読むだけのスピーチ	声は小さく、相手を見ない。表情なしの下手なスピーチを行う。
ウ 教科書内容の考察 例示	英語の教科書で本題材が主人公がスピーチしている内容を選び、どのように工夫してスピーチしているかをB S法によって見つけ出す話合い活動を行う。	主人公は対話型の質問形式のスピーチ技能を使ったり、写真や実物を見せたりShow&Tellの技能を使ったり、音楽を聴かせるなどのスピーチ技能を使っている。
エ ある中学生による実際に行われたスピーチの原稿を考察	質問形式や質疑応答など話し手と聴き手の相互交流があるスピーチを原稿で確認	質問形式、Show & Tell、実物の回覧などのスピーチ技能が使われている。
オ 教師の体験をスピーチ	教師が、合唱コンクールへの思い入れを原稿に書き、それをスピーチ	相手を見る、間をおく、感情移入などのスピーチ技能を取り入れる。

## アの具体例

Speech on speech (スピーチとは「何か」または「どうすべきか」をスピーチする)

### Why Speech is Important

Speech is very important. It may not be important now, but as you become older you will have to speak in front of many very important people. There are many things you can do to give a good speech. There are also many things you can do to give a bad speech. I am going to talk about the three basic elements to give a good speech. They are good speaking form, good structure of your speech, and finally a good topic.

Do you know that speaking in front of a crowd is not easy? In fact, many people much older than you have great difficulty speaking in front of others. It is important that you lose this fear when you are still young. The only way to lose this fear is to practice speaking in front of others.

Practice is truly the best method to improve your speech. In fact, the more you practice now, the easier it will be later. Practice is the most important thing. How do you practice?

Make a short speech. Then stand in front of a mirror and talk to yourself. Make sure to listen to yourself speak. Speak slowly, speak clearly, and pronounce each part of the word carefully. Many people talk quickly and eat the ends of words, blending them all together. This is very difficult for anyone to understand.

Next, when you are talking, it is also very important to make eye contact with the people you are talking to. If you are looking at them, then you are talking to them also. If you are looking at the ground, you are talking to the ground, and it is difficult for others to hear. If it makes you nervous to look at so many faces, try to pick a point behind the crowd and look at it. Your voice is still projected in their direction.

Another trick to making a good speech is using gestures. Many studies have shown that using your hands helps to remind you of what you want to say and what you are talking about. Hand gestures can improve the flow of your speech. In addition, hand gestures also help hold the attention of those you are talking to. Therefore, do not put your hands in your pockets or behind your back. Place them on the table in front of you and use them to further express what you want to say.

A final important part of a good speech is the content and structure. If you have an interesting topic you will have a more interested listener. If the structure of your speech is

### 《なぜスピーチは大切か》

スピーチは大変重要です。今は必要ではないかもしれませんが、しかし、君たちが大きくなるにつれて、多くの人や重要な人の前で話さなければならなくなります。下手なスピーチもまた多くあるものです。私は、うまいスピーチを行うために3つの基本的な要素を提示します。それらは「よい態度」「うまい構成」そして「よい話題」です。

大勢の人前で話すことはそれほどたやすくはないということを君たちは知っていますか。実際に、君たちの年上の人たちも人前で話をするに大変抵抗を感じています。まだ若い時には、この緊張感(怖さ)を減らすことも重要なことです。この怖さを減らすためには一つの方法しかありません。それは、他の人の前で話をすることです。本当に訓練するというのが君たちのスピーチを改善するための最善の方法なのです。実際、後でやろうとするよりも今やったほうが楽ですよ。(案ずるよりも産むが易し)練習することが最も大切です。では、どのように練習しますか。

短いスピーチを作りましょう。それから鏡の前に立ち、自分自身に話しかけてみましょう。自分への話しかけを聞いて、確かになっているかどうか確認しましょう。ゆっくりと話し、はっきりと語り、そして、一つ一つの単語を注意して発音しましょう。多くの方は早口でしゃべったり、結論を急いでしまったり、言葉が混ぜ合わさってしまいます。こうなるとだれでも理解しにくくなるのです。

続いて、重要なことは話しかける相手に対して、視線を合わせるということです。あなた方が相手を見ると、彼らに向かって話しかけられます。下を向いて話すとなんたは地面に向かって話しかけているのです。そうすると聞き手にとっては聞きにくくなるものなのです。もし、君たちが多くの人の中で話すのに緊張したならば、後ろの聞き手の一人を見るようにしましょう。あなたの声はあらゆる方向に発せられるでしょう。

スピーチを成功させるためのもう一つの技法はジェスチャーを使うことです。多くの研究によると、手を使ったジェスチャーは話し手が何を言いたいのか、または何について話しているのかを思い出させる手助けとなるということです。手を使ったジェスチャーはスピーチの流れを向上させるのです。さらに、手を使ったジェスチャーはあなたが話しかけている人々の注意を引きつけるのです。それゆえに、手をポケットにしまいこんだり、後ろで組んだりしてはならないのです。手をあなたの前のテーブルに置き、あなたが表現しようとすることをより表現するために使ってください。

もう一つ重要なことがあります。それは内容とそれを構成することです。面白い話題を選べば、聞き手はより興味をもつでしょう。あなた方のスピーチの構成が

<p>well organized it will be easier to follow. In addition, the listener will understand and learn more. Therefore, try to use short and simple sentences. Long sentences are not only more difficult to speak, but they are more difficult to understand. Next, try to keep the listener involved by using questions to make your speech into a two way dialogue. When you ask questions, the listener thinks of answers and becomes involved with the speech. Finally, make sure the order of your speech is appropriate. Begin with an introduction. This should include a brief description of what you will talk about. Next is the body of the speech. This should include all the important details of your topic. Very important points should be stressed and repeated several times throughout your speech. Finally, you need a conclusion. The conclusion should have a brief review of your speech and can be a rewording of your introduction.</p>	<p>論理立っていけば次に何がくるかが分かりやすくなるのです。それに加えて、聞き手はより理解しやすく、学びやすくなるのです。したがって短く簡単な文を使うようにしてください。長い文は話すことを難しくするだけでなく、理解しにくいものなのです。次に聞き手に質問をするような双方向のスピーチを使い、聞き手をスピーチに巻き込みましょう。あなたが質問をすると、聞き手は答えを考えながら聞きます。そして、あなたのスピーチは向上するのです。その結果としてあなたのスピーチの構成は適したものとして確信されていくのです。はじめは紹介からです。この紹介には、何について話をするかのちょっとした内容が表現されているべきです。次はスピーチの具体（本論）です。これには話題の重要で細かな点まで含まれていなければなりません。特に重要な点はスピーチの中で強調し、何回か繰り返すべきです。最後は結論が必要になります。結論はスピーチの復誦が少し述べられていなければなりません。また、紹介の部分の言い換えがなくてはなりません。</p>
<p>So, what things make up a good speech? First, a good speaker is very important as even a good speaker can make a boring topic seem fun and interesting. Next is good structure. This makes it easier for you to deliver the speech and for the listener to understand. Finally, a good topic is also important. The more exciting the topic the more others will be interested. So, what does it takes to make a good speech? Remember, look up, use your hands, and speak loud and clear, and you will be a good speaker.</p>	<p>では何がよいスピーチを築き上げるのでしょうか。第一によい話し手は大変重要なのです。よい話し手は、つまらない話題でさえも面白くしたり、興味をもたせてしまうのです。そして構成です。構成はスピーチを展開しやすくし、聞き手の理解を促すのです。そして、ワクワクするような面白い話題も重要です。より面白い話題は聞き手により多くの興味を与えます。もう一度繰り返します。よいスピーチを作るには何が必要なのでしょう。思い出してください。「上を見る」「手を使う」そして「大きな声ではっきりと話す」です。そうすれば、あなた達はきっと上手な話し手になりますよ。</p>

### ウの具体例

生徒が見つけ出したスピーチ技能とスピーチの「量」と「質」

観点	内容	
題名	Okinawan Music	
スピーチの量	長さ	1'30"
	音楽	0'30"
	語数	約200単語
	文	約30文
スピーチの質	スピーチの形	実物提示 (Show and Tell)
	スピーチ技能	質問形式の表現や強調
	提示資料	喜納昌吉 & チャンプルーのライブの写真2枚 エイサーの写真3枚 魔よけシーサーの写真 (沖縄の象徴として) 沖縄の民族舞踊の写真 (沖縄の象徴として) 沖縄の美しい海 沖縄料理ゴーヤチャンプルーの写真 喜納昌吉の唄「花」を提示

(2) 相互交流型スピーチを知る

いろいろなスピーチの技能を話し合いによって探る

「よいスピーチ」「よくないスピーチ」とはどのようなスピーチなのか B S 法と K J 法を活用して考え出す。

活用したワークシート（実物は A 3 サイズ）

技 スピーチ	どんなテクニックを使えるかな！？		面白いスピーチとは どんなスピーチか な？	スピーチが上手く なるにはどんなこ とは必要な！？
	話し方	聞き方		
どうしてうまいのか				
どうして下手なのか		付箋紙を活用し、意見を出し合い ながら、「よいスピーチ」「よくないス ピーチ」を考えていく。		

スピーチを考察している途中のワークシート  
\* B S 法でアイデアを出し K J 法でまとめている。



技 スピーチ	どんなテクニックを使えるかな！？		面白いスピーチとはどんなスピーチかな？	スピーチが上手くなるにはどんなことが 必要な！？
	話し方	聞き方		
どうしてうまいのか	声が大さ 発音がいい 手ぶら表現してバ 話し方がうまい どうしている。	人の顔をみながら話す しゃべりがいい 聞かせる 大さな声で話している	大きく話す おもしろい話 たのしそう 興味をもてる話をつくる	聞き手がわかるように ていねい練習 失敗を教える 場をいかに楽しむか 本音の所には注意
どうして下手なのか	発音が下手 声小さい 態度が悪い 練習不足 表現がない	姿勢が悪い 他の事を考えている 耳をふさぎ話を聞かない 他の人と話している 話しても聞いていない	ただ読むだけ 聞く人を見ない 動かない たのしそうじゃない 元気がない	10分・3分 10分・3分



各班で出された意見を基に教師がまとめたワークシート（ＢＳ法とＫＪ法の活用）

\*これを次の話し合い活動で使う教材にする。

技 スピーチ	どんなテクニックを使えるかな？		面白いスピーチとはどんなスピーチかな？	スピーチが上手くなるにはどんなことは必要かな？
	話し方	聞き方		
どうしてうまくいのか	スラスラ読める (A) はっきり話す (C) 大きな声 (A)(C)(D)(F) 発音がきれい (D) 大きい声で話の内容を表現する(B) 豊かな、明るい表情、にこやか(A)(B)(E) 体を使う (A) 内容がはっきりしている(B) ジェスチャーを使う (A)(D)(E)(F) 上を向いている (A)(E) 原稿を見ない (A)(F) 堂々としている (B)(D)(E) 前を向く (B) 目・口・耳を使っている (B) 強弱がある (B)(C)(F) 口を大きく開ける (C) 語りかける (C) イントネーションをつける (C) 話し方がうまい (D) 目を細く (E) 舌を巻く (E) 背筋を伸ばす (E) 上手い人の読みをバクル (E)	メモをとる (A)(C)(D)(F) 話し手の目を見る (A)(C)(D)(E)(F) いい顔をする (C) しずかに聞く (B) 内容を考えながら聞く (B) よく聞く(その世界に入る)(C) ちゃんと聞いている (B) 目・耳・手を使っている (B) 姿勢がよい(D) 腹筋を伸ばす (E) 鼻で息 (B) 理解しながら聞く (E) ねない (E)	ニコニコ笑顔のスピーチ (A)(E) 大きな声のスピーチ (D) ギャグのあるスピーチ (A) ものを使ったり、見せたりするスピーチ (A) 身近な話題のスピーチ (A)(C) 体で表現するスピーチ (A) 内容がわかりやすいスピーチ (A) ジェスチャーをつけたスピーチ (B)(C)(D) コミカルなスピーチ (B) 相手に問いかけるスピーチ (C) 楽しそうなスピーチ (D) 興味を引きつける話題のスピーチ (D)	はずかしがらない (A)(D) 慣れる (A) 恥を捨てる (A) ひたすら練習 (A)(B)(C)(D) がんばる (A) 文章を暗記 (B) 相手に伝えようとする (C) 読む内容を理解してから (C) 暗記してみんなを見られるように (C) 先生に発音を教えてもらう (D) 場の雰囲気慣れる (D) 本番の前に誰かに聞いてもらい感想を聞く (D)
どうして下手なのか	声が小さい (A)(C)(D)(E)(F) はっきりと話さない (C) もじもじ・うじうじ (B)(E) 下を向いている (A)(B)(C) ぐどい (B) アクセントがない (A) 自信がない (A)(E) 意味わかんない (B) 表情・表現がない (A)(D) 棒読み (B)(C)(E)(F) 口が小さい (C) 発音が下手 (D) 態度が悪い(D) 練習不足 (D) 暗い (E) 字が読めない(E) かむ (E) 泣きそう (E) ため息をする (E) 外国人になりきる (E) 元気がない (E) ネコ背 (E) 原稿をずっと見ている (F)	聞いていない (A)(B) 手わるさをする (C) 寝ている (A)(E)(F) 悪い顔をする (C) 下を向いている (A) 姿勢が悪い(D) 他のことを考えている(D) うるさい (B) 耳掃除をしていない(D) 態度が悪い (B) 他の人と話をしている(D) メモしない (B) 元気がない(B) やじをとばす (E) つまんなそう (E) ぼおづえをつく (F)	ただ読んでいるだけのスピーチ (A)(D) 聞き手に自分の意見を押しつけるスピーチ (C) 声が小さいスピーチ (A) 暗い・楽しそうじゃないスピーチ (A)(D) みんなが興味のないものをスピーチ (C) 内容が難しい・わかりにくいスピーチ (A)(B) 内容がつまらないスピーチ (B) 下ネタのスピーチ (B) ぐどいスピーチ (B) 役に立たないスピーチ (B) 動かない・手振りをしないスピーチ (B)(D) 元気がないスピーチ(D)	いろいろな人と話す (D) 抑揚を付けたり、強調したりする (D)

( ) 内のアルファベットは A ～ F までの班の名称を示す

判断基準表の作成(評価の指標を自分たちで作る)

ワークシート

技能面	面白さ・内容	聞き方	レベル	
			super	super (5レベル)
			excellent	excellent (4レベル)
			good	good (3レベル)
			try again 再チャレンジ	try again (2レベル)
(どうしても人前でできない人は事前に申し出て下さい。理由を聞きます。)			do your best !	do your best ! (1レベル)

作成途中のワークシート

自分たちの一言たちによる一言たちのためのスピーチ

技能面3<6	面白さ・内容3<6	聞き方2<5	レベル
<input type="radio"/> 舌を巻く <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> 内容がはざりている <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> いい顔をする <input type="radio"/> 内容を素直に受け止める <input type="radio"/>	super
<input type="radio"/> うまい人の腕みかき <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> ギャグのあるスピーチ <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	excellent
<input type="radio"/> 聞く人を見る <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> ため息をなく <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	good
<input type="radio"/> 話し方がゴツゴツ <input type="radio"/> 流石そう <input type="radio"/> ため息をする	<input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>	<input type="radio"/> よき見をしている <input type="radio"/> 聞き手になる <input type="radio"/>	try again 再チャレンジ
(どうしても人前でできない人は事前に申し出て下さい。理由を聞きます。)			do your best !



完成したワークシート

生徒の意見を教師が集約し、クラスの意見として生徒に返す。スピーチ発表の際に、これを活用して、自己評価・相互評価を行ったり、調べ学習・原稿づくりの学習でも、この表を基準にして学習を進める。

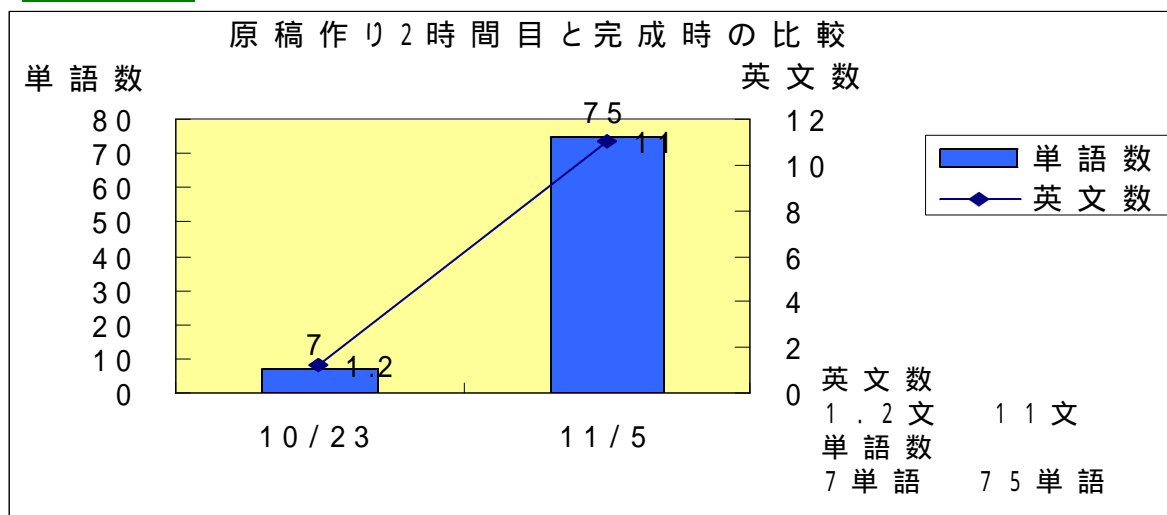
《自分たちのー自分たちによるー自分たちのためのスピーチ》

技能面	面白さ・内容	聞き方	レベル
語りかける 相手に問いかけながら 原稿を見ない ジェスチャー 堂々 スラスラ	よく調べてあり、自分の 意見を持っている。 20文以上書いてある 考え方がユニーク 結論と理由がはっきりし ている。 内容が整理されている はっきりしている	内容を考えながら 理解しながら聞く 聞き足しができる 確認ができる 自分の考えを述べて から質問できる	super
実物提示(物を見せる) 強弱 うまいスピーチの参考 大きな声 はっきりした声 発音がきれい	ギャグがある よく調べてある 15文以上書いてある。	メモをとる 顔をちゃんと見る いい顔・笑顔 うなずきながら	excellent
聞き手を見る 前を向く 背筋を伸ばす	身近な話題 調べてある 10文以上書いてある。	姿勢がよい 静かに聞く 最後まで聞く 拍手ができる	good
話し方がゴニョゴニョ 泣きそう ため息をつく 態度がわるい 声が小さい 下を向く 自信がない 意味わかんない	頑張って発表すれば クリア!!!	聞いていない 手悪さをしている よそ見をしている 聞いているふり うるさい ねない	try again
(どうしても人前でできない人は事前に申し出てください。理由を聞きます。)			do your best !

### 3 見通し3 考えを**広める**段階(7・8・9・10時間目)

- 7・8・9時間目は調べ学習及び原稿作りの段階、10時間目は発表の段階 -
- 英語を使った相互交流型スピーチの成果と課題
- 調べ学習・原稿づくりの段階

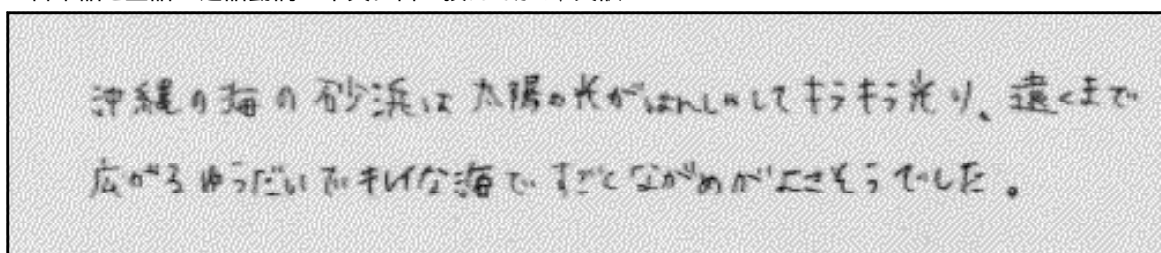
#### 原稿量の伸び



#### 投入手だて

- 1 基本文一覧表
- 2 日本語を主語 - 述語動詞の単文に言い換えてから、英訳
- 3 英単語の語順や分からない表現は日本語の単語でもよしと指示

- 1 基本文一覧表の参照
- 2 日本語を主語 - 述語動詞の単文に言い換えてから、英訳



\* この日本語を4つの日本語に分解する。これを英訳

私は沖縄の海の写真を見ました。	I watched the Okinwan sea.
砂浜が輝いていました。	The beach was shinning.
私は水平線も見えました。	I can see the 水平線.
私はその美しい風景が好きになりました。	I like the beautiful 風景.

\* 生徒が自力で書いた英文

### 3 英単語の語順や分からない表現は日本語の単語でもよしと指示

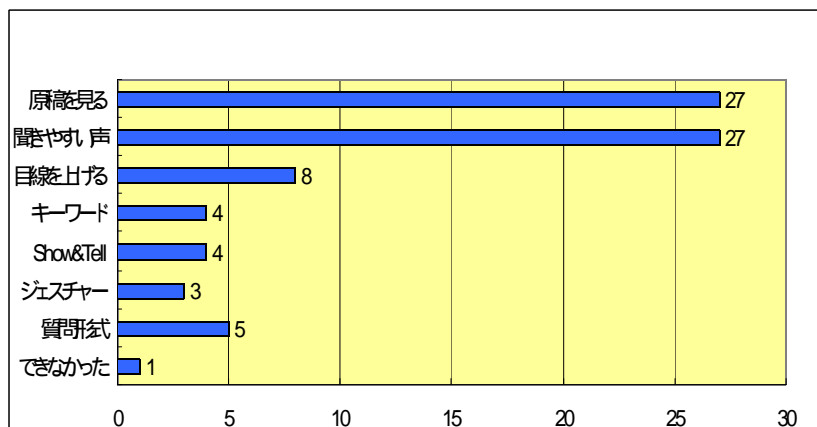
例文:	「私は、沖縄の海がきれいなので、行ってみたい」 ~~~~線部は生徒がよく間違えるような文法的なミスや不適切な表現	ミスや不適切な表現
レベル 1	I go to Okinawa's 海. It is 美しい.	日本語表現
レベル 2	Okinawan sea very beautiful so go to Okinawan sea and swim.	語順
レベル 3	I want to go to Okinawan sea. Because the sea is very beautiful.	ミスなし
レベル 4	I heard that Okinawan sea ~~~ very beautiful. So I want to go to there.	be 動詞なし, go there
レベル 5	I've never been to Okinawan sea. But I've heard it is beautiful, clean, and clear. That's why, I want to go there. And to swim in the Okinawan sea is my small dream. With fish or with my girl friend. I hope that my dream comes true.	句になっている。 主語・述語動詞の文でも書ける。

レベル 1 は英文の基本文型になっているが、単語は日本語。前置、冠詞、時制、単数・複数の細かなミスについても無視してもよし。  
 レベル 2 では、英文の基本文型にはなっていないくても、英単語が並べられていて、意味が伝わればよし。  
 レベル 3 では、単文の組み合わせとし、このレベルの英文目標にスピーチ原稿を作らせることとした。  
 発展としてレベル 4 は、複文や重文が使えていたり、その他、言い換えができていない表現力をもつ段階である  
 さらに発展として、レベル 5 は、自分が言い表したい表現に加えて、他の英文が加えられてユーモアやウィットに富んだ表現が使われている段階とした。  
 \* レベル 4・レベル 5 の英文は十分満足できる段階として生徒に告げた。

#### 発表の段階

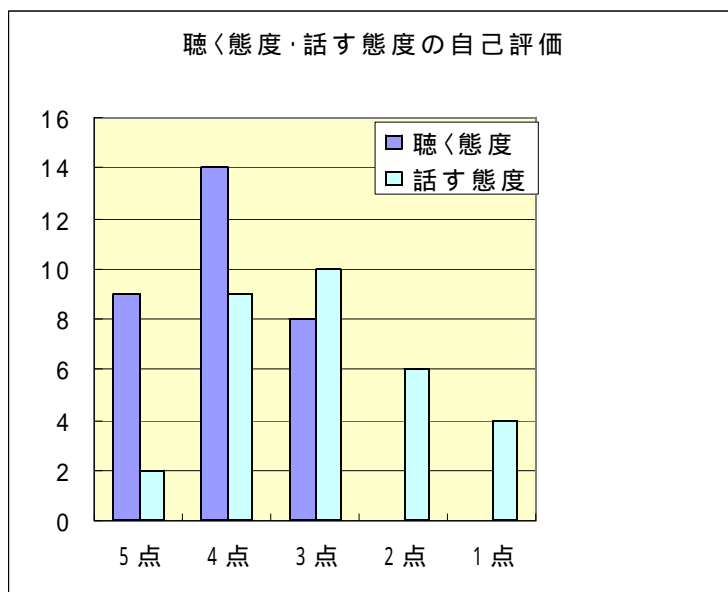
##### 発表の様子

生徒が使えたスピーチ技能



生徒はスピーチ技能について、深く考えてきたが、英語で発表となると相手を見て表現豊かにスピーチが行えた生徒の数は約 4 割であった。

スピーチ技能を知識として認知しているが、それを活用するようなスキルトレーニングも今後必要になる。



10時間目の発表後、「話し手」としての満足度と「聴き手」としての満足度を測った。原稿を一生懸命書いてきた生徒がほとんどであったが、いざ、本番になると原稿から目を離すことができなかったと客観的に判断している。

一方、「聴き手」の立場では、全員がメモを取り、集中して「話し手」のスピーチを聴いていた。ほのぼのとした発表風景であった。